

(D)

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-46383

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)3月29日

H 01 R 13/62

8623-5E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 コネクタ機構

⑯ 実 願 昭63-124533

⑰ 出 願 昭63(1988)9月22日

⑱ 考 案 者 山 田 博 東京都武蔵野市中町2丁目9番32号 横河電機株式会社内
 ⑲ 考 案 者 山 城 靖 彦 東京都武蔵野市中町2丁目9番32号 横河電機株式会社内
 ⑳ 出 願 人 横河電機株式会社 東京都武蔵野市中町2丁目9番32号
 ㉑ 代 理 人 弁理士 小沢 信助

⑳ 実用新案登録請求の範囲

互いに接触片を有するソケット部とプラグ部よりなるコネクタ機構において、上記ソケット部は、シエルに対して上記プラグ部の挿入方向に一定距離移動可能でかつその内周先端部にテーパ部が形成されたソケット側ガイド部材及びこのソケット側ガイド部材をプラグ部の挿入方向に抗して押圧するスプリング手段を有し、上記プラグ部は、ブランジャに対して上記ソケット部への挿入方向に一定距離移動可能でかつその外周先端部にテーパ部が形成されたプラグ側ガイド部材及びこのプラグ側ガイド部材をプラグ部挿入方向に押圧するスプリング手段を有し、更に上記ソケット部及びプラグ部をそれぞれ電子装置に回転可能に取り付けるシャフト部とを具備したコネクタ機

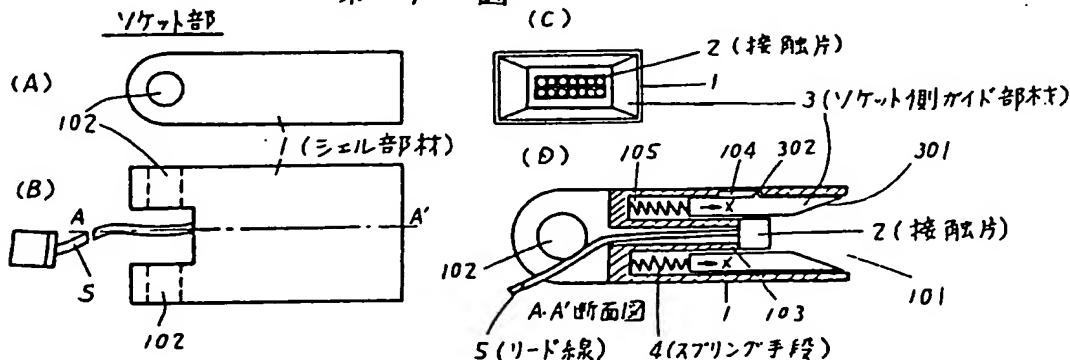
構。

図面の簡単な説明

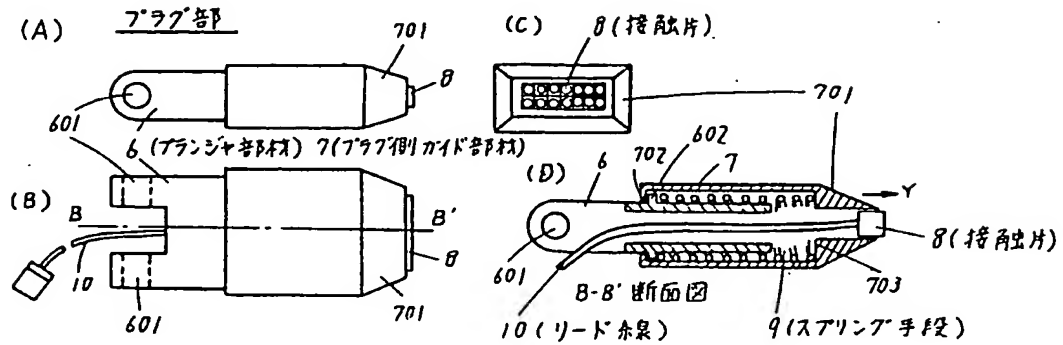
第1図乃至第3図は本考案の実施例を示すソケット部、プラグ部、シャフト部の構成図、第4図はシャフト部とプラグ部の関係を示す構成図、第5図乃至第7図は本考案による電子装置の結合切り離しの動作説明図、第8図はシャフト部の動作説明図である。

1……シエル部材、2、8……接触片、3……ソケット側ガイド部材、4、9、13、13'……スプリング手段、5、10……リード線、6……ブランジャ部材、7……プラグ側ガイド部材、11……筐体、12、12'……シャフト押さえ、14……シャフト、15、16……電子装置。

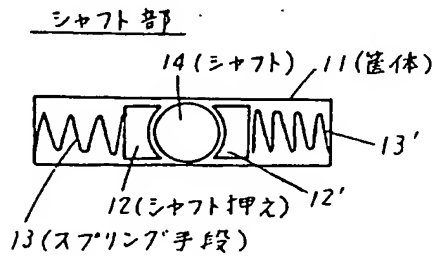
第 1 図



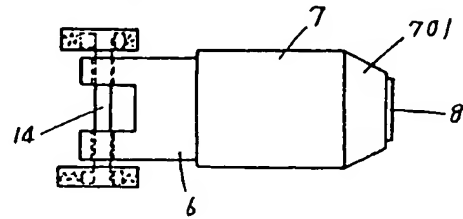
第 2 図



第 3 図

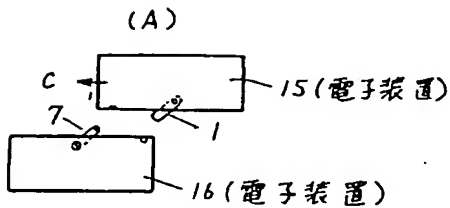


第 4 図



第 7 図

第 5 図



第 6 図

